

現代日本論概論「現代日本における職業」

講義のまとめ

田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 期末試験: 解答のポイント

配点: 問1=12点、問2=8点、問3=8点、問4=8点 (合計36点)

問1について:

- 「労使協定」は、その事業場の労働者の過半数代表者と使用者との間で結ぶ
- ほかに、「人的資本」「労働市場」「キャリア」といった概念の意味をおさえたうえで説明すること

問3について:

- おなじ条文の後半は、当然前半を踏まえてのものであるので、関連性をもとに考えること

2 授業でとりあげた領域

(1) 法学 (2) 経済学・経営学 (3) 社会階層論 (4) ジェンダー論 (5) 労働統計

3 習得してほしかったこと

- 各分野の基本的な概念と考えかた
- 現代日本における具体的な状況 (制度とデータ)
- 統計や法律などを調べる能力
- 習得した事項を、別の場面・文脈に応用する能力

4 応用問題

- 日本的経営
- 近代化と二重構造
- グローバル化
- Work-life balance
- Diversity
- 政府と市場
- 福祉国家論
- 国際比較